

ミラクル

3



実希

▷

澤田は約180人いる
陸上部員のうち、短距離
選手約80人を担当した。

早く戻りたい
2005年11月、福岡
大学病院に入院した陸上
選手の沢田実希(25)＝当

大陸上部の練習グラウン
ドを見つめた。「みんなの
から「神様が与えてくれ
た試練」と励まされなが
ら、大学2年から1年半、
マネジャーを務めた。

をやつてほしい」と、転
身を勧められた。

沢田は福岡大病院（後の建物）に入院して
いたときも、福岡大陸上部の練習を見ていた

練習、一步一歩積み重ね



時、福岡大1年＝は、ス
テロイドの投薬や手術な
どによる治療で「ほぼ寝
たきりの状態」となった。陸上部の山崎一彦監督
何とか散歩ができるよう(40)から「病気を治すこ
になると、病院のフェン
ス越しに、隣接する福岡
上ではない。マネジャー
ジョギング程度しかでき
ない状況で復帰しても、
恩師の1人から「みんな
か」と助言を受けた。
限界まで本人のしたいよ
うにさせてやろう」と心
に決めた。

母和子(55)は、娘の姿
に腹をくくった。「実希
の小学生時代の恩師から
『好きなことができな
れば、体は生きていても
心が死ぬ』と助言された。
後押しを決心

実希は他の部員と同じ

練習メニューができるよ
うになるまでの半年間、
マネジャーの傍ら、復帰
に向けて自主練習を続け
た。体への負担を考慮し、
練習の量や強度を少しづ
つアップした。日常生活
にも細心の注意を払い、
免疫力を高めるための食
事療法も試した。

練習メニューができるよ
うになるまでの半年間、
マネジャーの傍ら、復帰
に向けて自主練習を続け
た。体への負担を考慮し、
練習の量や強度を少しづ
つアップした。日常生活
にも細心の注意を払い、
免疫力を高めるための食
事療法も試した。

(敬称略)